

折り紙の手法で新聞紙を材料にした簡易食器をつくるプログラム

取り組み易さ：★★★

紙食器づくり

災害時には食器棚が転倒し食器が割れたり、水道が止まって食器が洗えなくなります。新聞紙を利用して簡易な食器を作る方法を教えます。

◎目安時間：10分／回

◎実施場所：屋内・屋外両方可
(屋外の場合、テント必要)

◎参加人数：数人／回

◎必要スタッフ数：2人

実施ポイント

- 1 地震の揺れで食器が割れてしまった場合に新聞紙など身近にあるモノを使って簡易な食器を作る知恵を教えます。
- 2 避難生活では水が貴重になり、食器を少量の水で洗う工夫や、ラップをかけて食器を汚さない工夫が行われたことを伝えます。



必要資器材 (目安)

資器材名	数	備考
<input type="checkbox"/> 新聞紙 A	必要数	いらなくなったチラシ等でも可
<input type="checkbox"/> 食品包装用ラップ	1本	30cm程度の幅の広いタイプ
<input type="checkbox"/> ビニール袋	必要数	小皿が入る程度の大きさ
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	1ケース	新聞紙で手が汚れた時に使用
<input type="checkbox"/> 紙食器の折り方配布シート B	必要数	A4サイズ程度 プラス・アーツまでお問い合わせください。
<input type="checkbox"/> 作り方パネル C	必要数	折り方をA3サイズ程度に引き延ばしたり、実際に小さい紙で手順を説明したパネルを、テーブルに置いておくと分かりやすいです。
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		



事前準備チェック項目リスト

【前日までの準備】

- 新聞紙を入手しておきます。(規模にもよるが、1ヶ月程度あれば十分)
- マニュアルを見て、紙食器の折り方を事前に覚えておきます。
- マニュアルに載っている以外の折り方を調べておくとさらによいでしょう。

【当日の準備】

- 作り方パネルを机に複数置いておきます。
- 新聞紙を使いやすい大きさに切っておきます。
- 見本を複数作って置いておきます。
- いろんな折り方を見せたり、教えたりする場合は、それぞれの折り方の見本を準備しておきます。



実施内容

【震災時の状況説明】

写真などの資料を見せながら、阪神・淡路大震災を事例にして、ライフラインが止まった時の避難生活の困難な状況について説明します。



【震災時の食器・水問題の説明】

震災時、食器棚が倒れ、食器が割れてしまったり、水で洗えなくなったりした場合に、新聞紙やラップ、ポリ袋などで作った簡易な食器がとても役に立った事を教えます。



【紙食器の作り方説明】

新聞紙を使った食器の作り方、ラップやポリ袋などを食器にかぶせる活用方法などを実際に作って見せながら教えます。



【紙食器を使用】

バーベキューなどアウトドアで使ったり、普段の生活でお菓子をに入れて使うなど、日常生活での活用方法を説明します。開催地の実施プログラムに「炊き出し」があれば、実際に自分で作った紙食器で食べてもらうのも貴重な体験になります。

熱い汁物などを入れるときは、2個重ねると持つのに熱くないよ!



【他の材料での作り方】

新聞紙だけでなく、他にどんなものが食器代わりに使えるか、考えてもらいます。(例) 缶詰の空き缶を活用する、葉っぱをお皿代わりにする、木の枝で箸をつくる など。